



# 熊本県PTA新聞

熊本県PTA連合会  
www.kumamoto-pta.com  
〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町3-7  
熊本県総合福祉センター4F  
TEL(096)354-5919  
FAX(096)354-5913  
✉ info@kumamoto-pta.com

●発行人 田中万里  
●単位PTA数 347  
●発行部数 73,000部

印刷 株式会社キャップ  
TEL(096)362-3333  
制作 ワタナベデザイン  
TEL(0969)22-1089

監修 熊本県人権教育研究協議会

## 今でできることを全力で



熊本県PTA連合会  
会長 田中 万里

先ず初めに、11月に開催いたしました第47回熊本県PTA研究大会宇城大会におきましては、県内各地からPTA会員の皆様を始め多数のご来賓をお迎えして開催ができましたことに心から感謝を申し上げます。

本大会にあたっては近年の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、PTA活動や子どもたちの様々な行事等が中止されている中、このような状況だからこそ「PTA活動の歩みを止めてはならない」という強

い思いで、安全を確保しつつ、参加人数を制限し、準備段階より感染対策に重点を置き、会場を4か所に分散し、併せて参加出来なかった会員の皆様の研修の機会を確保するために大会後、動画配信を行うなど新しい取り組みでの開催でした。

当日は記念講演を始め、親として直面している子育ての悩みや課題がたくさんある中、それぞれの分科会でテーマに沿った講演が行われ、子育てのヒントや家庭教育の助となる質の高い学びの場と成り

得たのではないのでしょうか。本大会にご尽力いただいた宇城大会実行委員会を始め関係者の皆様に重ねて感謝申し上げます。

さて令和3年を振り返ってみますと、今なお続くコロナ禍で予測困難の中、PTA活動も思うように活動が出来ない現状が続いております。しかし、今は焦らずリモート会議や録画配信などを工夫し「今でできることを全力で」の気持ちで皆様と学びの共有を図りながら、共に進んで参りたいと考えます。今後とも、PTA会員、関係各位の皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 「県P連の責務」との思いで実施した特別分科会



宇城大会実行委員長  
田尻 清孝

第47回熊本県PTA研究大会宇城大会は、過去に経験がないコロナ禍での開催となりました。感染防止対策として参加人数を制限せざるを得ない中、来賓を含め1,000人弱の皆様にご参加いただき心から感謝申し上げます。

宇城大会は、食育、特別支援、情報モラルの3つのテーマに沿った分科会を宇城市、宇土市、美里町を会場に、全体会を地理的に中心となる宇城市をメイン会場に開催しました。

分散し、各会場に密状態をつくらぬ方向で調整しました。参加者や会場を制限することによる不具合を解消するため、それぞれの会場の様子は録画収録し、後日オンデマンド配信を行うことになりました。そうすることにより、多くの皆様にご参加いただけるものと判断したものです。

今大会は、「学び、学び愛、心豊かな子どもたちの夢と未来のために」をスローガンに、子どもたちの未来と親の学びについて議論を深めることがねらいです。参加者アンケートでは、厳しいご意見もありましたが、多くの方々から賛同をいただくことができました。オンデマンド配信による再視聴の希望も多く、会場参加ができなかった方々を含め是非ご視聴いただき、多くの地域で、団体で議論を深めていただければ幸いです。



メイン会場開会行事ようす

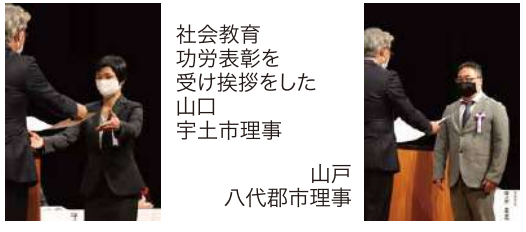
### Report 第47回熊本県PTA研究大会



県議会副議長 山口 裕様  
県教育庁市町村教育局長古田亮様  
宇城市長 守田憲史様



田尻大会実行委員長  
挨拶をする 田中県P会長



社会教育  
功労表彰を受け挨拶をした  
山口 宇土市理事

山戸 八代都市理事

## 宇城大会



メイン会場で表彰を受けたみなさん



たちを取ったことです。感染防止対策の観点から可能な限り参加者を



新型コロナウイルス感染症対策 (メイン会場)



宇城大会 全体会の最後 ステージに上がり次回開催の「やまが大会」のPRをおこなった山鹿エリアPTAのみなさん

「やまが大会」を『進化の時』にしましょう。湯の町山鹿でたくさんのご来場を心よりお待ちしております。

歴史と未来が交わる瞬間  
「やまが大会」を『進化の時』にしましょう。湯の町山鹿でたくさんのご来場を心よりお待ちしております。

親の学びの『深化』、子どもたちの『真価』、そしてPTAの『進化』。

激動する社会情勢やウィズコロナ社会への移行が進む中で、PTAの在り方も見つめ直す時がきたのではないのでしょうか。

委員長 永田 壮拓



第48回熊本県PTA研究大会  
やまが大会  
令和4年11月12日(土)開催

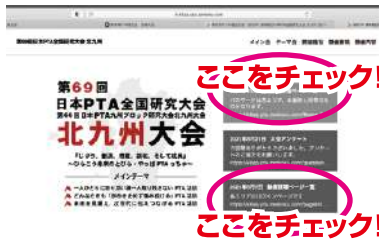


**第69回日本PTA全国研究大会**  
**第66回日本PTA九州ブロック研究大会**

**報告 北九州大会**

「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」  
 ～ひらこう未来のとびら・やっばPTAっちゃ～

令和3年8月21日実施



アーカイブ放映中  
 (3月末まで)  
 日P北九州大会ホームページ  
<https://kitaq-pta-zenkoku.com>

動画視聴・見逃し配信→熊本県PTA連合会→パスワード c g f j z x m 5 (共通)

**親も共に学び育つ**



感想  
 玉名市立玉水小学校  
 PTA会長  
**中尾 義輝**

「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」～ひらこう未来のとびら・やっばPTAっちゃ～のスローガンのもと、北九州大会におかれましては新型コロナウイルスの影響により大会初のオンライン配信となり凄く苦労されたのではないのでしょうか。

スチャールトークセッションでは、「教育とは」と質問がありました。ゲストの方々の色々な考えがあり、その中でも、つるの剛士さんの「共育」という言葉に感銘を受けました。

子どもだけではなく親も共に学び育つていく。その言葉に、私の思う教育とは何なのか考えさせられました。

タブレットやインターネットを使ったICT問題なども話されていましたが、私の住んでいる玉名でも深刻な状況で、いかに有効に使うか等いろいろな面で役に立つトーク内容でした。

この北九州大会は、初のオンライン大会ということもありコンパクトにまとめられておりますが非常に実のある良い大会であったと思います。

**PTAは「卵」の役割**



感想  
 水俣市立袋小学校  
 PTA会長  
**藤原 貴浩**

本大会開催に伴いまして、運営関係者の皆様におかれましては企画から実行、そして無事に大会が開催されたことについて、現況コロナ禍のなか本場に熟慮されたことと感謝しております。

今回は、これまでの大会とは異なった

**共に学び、共に育つ**

Webオンライン形式での実施と開催後の見逃し配信の企画など、多大なご尽力されたことと思っております。大会スローガンとテーマにもあります様に「未来のとびらがひらけた次世代に伝えたい」なげられた大会であったと併せて感じております。

テーマ会のなかでは一人ひとり(親子・子ども・教育者)がこれからの未来を生きる力についてのトークセッションがあったり、新型コロナウイルスが学校現場(教育)のあり方を一つ進めてくれたことであつたり、家庭・地域・学校が一体になるためにそこを繋ぐ「卵」の役割であるのがPTAであることなど、その他にも様々なトークセッションを視聴できて今後のPTA活動に対する考え方を改めて学ぶことができました。

**共に学び、共に育つ**



感想  
 芦北町立湯涌小学校  
 PTA会長  
**家城 伸水**

この度の大会はコロナと災害といった困難を乗り越える全国の教育者と多くのPTA会員の協力による、はじめのオンライン開催でした。

現在PTAの前にはコロナ、災害のみならず多様な問題が山積してあります。そのようななか、本大会で気になる問題提起がありました。「あなたの思う教育とは？」というものでした。自分に投げかけられていると思ひ、本当にドキッとしました。

なんと答えて良いのかわからなかったのです。様々な回答がありました。その中に教育とは「共育」という言葉がありました。親や教師が育てる側に立つのではなく、共に学び、共に育つというものでした。私たち一人一人がどのような教育を受け、現在の自分があるのでしょうか？

様々な困難な問題が私の過去にも

**PTAは大人が成長する場**

ありました。その時も私の前に問題は山積していたのです。しかし今大会では、困難を乗り越えるPTAの存在があったことに気付かされました。

「あなたの思う教育とは？」この問いは答えでもありました。

令和五年、芦北、水俣で熊本県研究大会が行われますが、今大会で学んだように私たち一人一人がそれぞれの答えを出せる素晴らしい大会となるよう励みたいと思います。

**PTAは大人が成長する場**



感想  
 菊池郡菊陽町立  
 武蔵丘北小学校  
 PTA会長  
**池 裕子**

私は、木村泰子先生・工藤勇一先生・合田哲雄先生のトークセッションを視聴しました。校長先生として教育現場をよく知る木村先生・工藤先生、行政から現場を見る合田先生が、今の学校について思うことやPTAに期待することについて熱く語られました。

木村先生、工藤先生は、それぞれの経験から、今の学校もPTAも、当たり前にとらわれずに子ども一人一人を見た変化が必要と考えられており、「学びを保障するのが学校である。時に学習指導要領を越える柔軟な思考が必要である。」との発言には納得するものがありました。

合田先生の、「例えば二次方程式。その子の人生に何の関係があるかを教えてほしい。国も学校も、子どもの変化や育ちに責任を負う立場として、現場でどう実践するかを考える柔軟性が重要である。」など現場に寄り添った意見も印象的でした。

お三方の話の中で、「PTAも教育の当事者であるべき」との意見があり、私も子どものサポーターとして、親、地域が学校と融合した子どもの学びの場の創造を実践してみたいと思いました。

**何ができるか考え行動したい**

「PTAは大人が成長する場。自身自身の成長のために楽しんでほしい。得られるものは大きいはず」。PTA会長を6年経験された合田先生の言葉に一番共感しました。

**何ができるか考え行動したい**



感想  
 山鹿市立大道小学校  
 PTA  
**松本 美恵**

大活躍されているEX-ITさんの対談とのことで期待して視聴しましたが、対談された石戸奈々子先生のお話も大変興味深く、北九州市出身のつるの剛士さん方のトークセッションも色々な話を聞くことができて、とてもわかりやすい内容でした。テーマは「コロナ禍における教育格差とは?」「オリジナルティの身につけ方とは?」「先生たちの教育ってあるの?」の3つでした。

コロナ禍で家庭格差だけでなく、地域間、公立と私立間、国際間の格差が広がった反面、ICT導入後進国の日本では新型コロナウイルスが学校現場を一つ前に進めてくれたという皮肉な側面もあったことや兼近さんの経験をもとにした考え方の変化や生き方のお話も興味深いものでした。変化の激しい世の中で過去に学んだことだけで対応するのは難しいので、先生だけでなく全ての人が生涯学ぶ、学びなおす機会や時間を確保することが大切であるとお話があり、その中で教える人は先生だけでなく、色々な分野のプロの力を借りて、活きた学びを子どもたちに提供できる教育の実現は、本当にそうなるのではないかと思います。教育現場も社会も変えるのは大人なので、自分を含め偏った価値観や凝り固まった考え方で、子どもたちの未来の妨げにならないような人間でありたいし、レモンさんの最後の言葉にあった、目指すゴールを意識しながら、今の自分に何ができ

**皆で知恵を出し合う**

るかを考え行動したいと素直に思えました。



感想  
 上天草市立松島中学校  
 PTA会長  
**千原めぶき**

私は「子どもの生きる力を育む学校教育とは」を拝聴し、その中で二つ印象に残ったお話がありました。

一つ目は「上手くいかない時って、何かと比べて『あれが悪い』『これが悪い』って言う。そして、何かと比較をして、皆が勝手に不幸になっていく。大事なものは、ありのまま受け入れて、それを皆が当事者としてどうやったらより良い社会になるのか。皆で知恵を出し合って社会を変えていく」というお話。「自分事として考える」とても大事な視点だなと思ひました。その反面、経験の無いことについて意見を述べるのはとても難しいことだとも思ひます。悩んでいる人、不安や心配事で押しつぶされそうなる人には、まずは、その人の話や気持ちを聴き、落ち着かれたタイミングで何かが必要か、どうしたいかを一緒に考えていけたらと思ひました。

二つ目は「誰ひとり置き去りにしない社会を作るのはとても難しいこと。『みんな違っていい。』はずごく苦しいこと。』に、とても共感しました。『みんな違っていい』はよく聞く言葉ですが、言いつ放しで放置されていないか。その人たちは苦しみ続けているか。そこどのように寄り添えるのか。理想と現実。自分自身再度考える良い機会になりました。

最後に、これからはまずは自分が楽しんで、我が子や他のお子さんたちとう接するか、どうすればみんなが自分らしく楽しく生活していけるかをしっかり考えていきたいと思います。貴重なお話をありがとうございました。

# 令和2年 豪雨災害について② 人吉地域



人吉市立  
人吉第三中学校  
PTA会長  
清家 幸則

令和2年7月豪雨災害から約1年  
半が経過しました。被災した建物の  
多くは解体が進み街並みが様変わり  
している中、自然災害がもたらした今  
の人吉市や、復興の様子を身近に感  
じてもらおうと令和3年11月27日「ひ  
とよし だいすき」ウォークラリー大  
会を人吉市PTA連絡協議会にて企  
画し、開催しました。参加者約12  
0人でPTA会員の親子にも参加して  
いただき、球磨川沿いや、最も水位の  
高かった人吉市内中心街を、み拾いし  
ながら歩きました。参加されたPTA  
会員の方に感想を聞くと「変わりゆ  
く街の様子をゆっくり歩きながら見る  
ことで、改めて水害の恐ろしさを実感  
した。」「ニュースで見た時の電柱に示  
してある水位の高さが、テレビで見  
るより実際高さを見て確認し、こんな所  
いかと感じました。

# 令和3年度 親子ふれあいデー活動 自立に向かう三玉っ子

山鹿市立三玉小学校



- 学校の概要
- 山鹿市エリア
  - PTA会長 松山 新
  - 校長 堀田 昌司
  - 原稿執筆者 鹿子木美紀
  - 児童数 180人
  - 教職員数 25人

本年度のPTA活動スローガ  
ンは、「みんなで協力！ たのし  
く活動！ まなびあおう三玉っ  
子」です。これは、PTA会員  
が、みんなで協力し、楽しく活動  
する中で、お互いの子育てにつ  
て学び合おうというものです。

例年、親子ふれあい活動とし  
ては、各学年毎の親子レクリエー  
ションを始め、親子愛校作業(2  
回)、資源回収(2回)、親子ふれ  
あいバザー、教育講演会等を行っ  
ています。昨年度からは、新型コ  
ロナ感染拡大防止の観点から活  
動の在り方を考え、参集しない



親子日めくりカレンダー



読み聞かせ・パパさんデー

で親子のふれあいができるもの  
も挑戦しています。  
【親子日めくりカレンダーづくり】  
親子のふれあい・我が家のル  
ール・家族のきずな・命の大切  
さをテーマに親子で日めくりカレ  
ンダーを作成しました。制作過  
程で、言葉を子どもが考えイラ  
ストを親子で描いたり、家族み  
なで考えて取り組んだ家庭もあ  
ったようです。力作ぞろい、31  
作品を選び、親子日めくりカレ  
ンダーを作成し、児童玄関に展  
示しました。毎日、子どもたちは  
カレンダーをめくり読むことを

楽しんでいきます。  
【読み聞かせ・パパさんデー】  
毎月第2木曜日の朝に、読み  
聞かせを行っています。11月は、パ  
パさんデーでお父さん方に読み  
聞かせをしてもらいました。  
ICTを活用して、普段とは違  
った雰囲気の中で子どもたちも  
大喜びでした。  
親子が同じ活動をし、共に考  
え、語り合い、汗を流し、喜びや  
成長を分かち合うことが大切  
であると考え  
ます。  
今後も親子で  
ふれあう時間  
を大切に、し  
子どもの健全  
育成につな  
がるように努  
めていきます。

## 親子ふれあいデー活動 ふれあい読書研究会

### 中間報告と意見交換



八代都市エリア理事  
八代市立  
八代第一中学校  
南 尚子

# 保護者も一緒に 成長できるように 取り組みたい

家庭教育委員会では、家庭・学校・  
地域との交流活動を推進するため「親  
子ふれあいデー活動」並びに「ふれあい読  
書研究会」の委嘱事業を実施してき  
ました。



親子・読書中間報告のようす

6月に事業をスタ  
ートさせ、12月15日  
に中間報告会を開  
き、事業を委嘱した  
各学校より進捗状  
況の報告を受けま  
した。  
親子ふれあいデー  
活動報告では、コロ  
ナ禍により多くの制  
限がある中、親子が楽しくふれあえる  
イベントを工夫しながら企画立案し進  
められていました。  
読書研究会報告では、応募理由の確  
認や、改善要望などが挙げられ、次年  
度以降に繋げていく必要があります。  
各報告会ともに、活発な意見交換が  
行われました。今年度の残りの期間や  
次年度以降の事業や活動の中で活か  
せる貴重な情報交換の場となりました。  
今後も家庭教育の充実や地域との  
連携を深めながら、子どもたちのよ  
い成長は勿論、保護者も一緒にな  
る成長できるように取り組んでいき  
たいと思います。

## 令和3年度 ふれあい読書研究会

### Report

### 上天草市立今津小学校

# 「わくわく感」「読んでみたい感」を大切に した読書活動の推進

今津小学校では、ふれあい読  
書研究会活動助成金を活用し、  
子どもたちの「わくわく感」「読  
んでみたい感」を大切に読書  
活動を推進しています。購入し  
た新刊を生かした取組をいくつ  
か紹介します。まずは、「新刊お  
披露目会」です。「新刊」を図書  
室に並べ、校内放送でお披露目  
の準備ができたことを伝えま  
す。昼休みには、多くの子ども  
たちが、お披露目コーナーに集ま  
り、様々なジャンルの本に興味  
津々でした。次に、図書委員会に  
よる「大型絵本の読み聞かせ」で

す。絵本が大きいだけで子ども  
たちの「わくわく感」を刺激しま  
す。また、遠くの子にも絵が見え  
るので大盛況でした。国語科で  
は、単元に応じて並行読書を行っ  
ていきます。インターネットを活  
用して調べる方法もあります  
が、やはり、本を手にとって活字  
を読むことは大切です。1年生  
は、「じどうしゃくらべ」で学習し  
たことを生か  
して、興味あ  
る自動車につ  
いて調べ、ま  
めることがで  
きました。最  
後に、「わくわ  
くハッピー本」  
の紹介です。  
新刊の本をか



「大型絵本の読み聞かせ」のようす



「新刊お披露目会」のようす

わいフィルムで包み、子どもた  
ちの興味を引く工夫をしまし  
た。中にはどんな本が入っている  
のだろうという「わくわく感」  
を膨らませた子どもたちは、手  
に取らずにはいられない様子で  
した。  
そのほか、読書活動では、「読  
み聞かせグループ」「しゃぼん玉」  
による読み聞かせ、「上天草市」読  
書マラソン」による読書推進、「い  
つでも読める」学級文庫の設置  
「手作りしおりのプレゼント」読  
書月間の取組も行っています。



### 学校の概要

- 上天草市エリア
- PTA会長 松下 大志
- 校長 緒方 義弘
- 原稿執筆者 松下 大志
- 児童数 195人
- 教職員数 28人

Report

# PTA 研究大会 宇城大会

日時 令和3年11月13日(土)  
 主管 宇城PTA連合会  
 後援 宇土市 宇土市教育委員会、宇城市 宇城市教育委員会、  
 美里町 美里町教育委員会、一般財団法人熊本県PTA教育振興財団

メイン会場 宇城市ウイングまつばせ



## 記念講演 年中夢求 24時間をデザインする

講師 宇城市教育長 平岡和徳様

■担当 教養委員会  
 ■運営責任者 教養委員会委員長 藤井 千秋  
 ■会場責任者 藤井 千秋



感想  
水俣市立  
水俣第二小学校  
PTA会長  
平田 領



感想  
下益城郡美里町立  
砥用小学校PTA  
松永 祐隆

今回、メイン会場に参加させていただき多くの学びがありました。記念講演では、大津高校サッカー部総監督の平岡和徳様の講演を拝聴させていただき、みんなに平等にある一日24時間をデザインし、その使い方は無限大にあるというお話でした。昨今コロナ禍にある中で、新しい生活様式という言葉を目にしていますが、家の中の過ごし方というものを考えられた方も多くいらっしゃると思います。そんな状況の中で時間の使い方を考えなければと感じました。子どもとの時間、自分の時間を有効に使うこと、ただ私たち保護者はやはり子どもとの時間が大事なことと思います。一緒に宿題をする、遊ぶなど共に過ごし、一日の時間でメリハリを持つことを意識させ、時間の使い方を感ずってもらうことが、お話の中であった、自ら考えコントロールできる人間力が養われることに繋がると感じます。また私が一番印象に残った、子どもを自分の中心に据えるという言葉がありました。ハッとしました。自分中心になつていないかと反省しました。子どもと共に学び、学び愛成長していかねばと改めて思いました。貴重なお話をありがとうございました。

メイン会場では宇城市教育長であり、大津高校サッカー部総監督の平岡和徳様より、年中夢求24時間をデザインするをテーマに講演をいただきました。講演では、「子どもたちが目標をもつて、夢に向かって成長していくためには、周りの大人が子どもたちの未来に触れているという深い自覚を中心に据えてサポートしながら、子どもの内側に火をつけ、本気のスイッチをONにすることが重要である」「学ぶことを止めたとき、教えることもやめなければならぬ」と仰られていました。これらの他にも数多くの深く重みのある言葉をいただきました。子どもたちが成長していく過程で、やらされるから自分からやる、そして、創意工夫をしながら夢中になることのできる安全・安心・安定した環境を提供しながら、子どもたちと一緒に学びを深め、続けていくことが大切であることを改めて考える機会となりました。

最後にりましたが、このコロナ禍でありながらも、学びの機会を与えていただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



メイン会場のようす



記念講演会ステージのようす



動画配信の準備をするスタッフ



会場のようす(第1分科会)



進行する池理事(第1分科会)



質問する参加者(第1分科会)



やまが大会PRのようす(第1分科会)



## 命と向き合う仕事とは 農家ハンターの活動で 伝えたいこと

講師 くまもと☆農家ハンター 稲葉達也様

■担当 総務委員会  
 ■運営責任者 総務委員会委員長 池田幸司  
 ■会場責任者 植田 康介



報告  
総務副委員長  
吉村 俊彦



感想  
嘉島町立  
嘉島西小学校  
PTA会長  
奥村 貴子

「イノシシなどの鳥獣被害を自分ごととして考えてほしい」「ハンターとしてイノシシの命を奪うことが目的でなく、命にどう向き合うのか、そしてその命をどういう気持ちで頂くのか、子どもたちに伝えたい」  
 講師の稲葉達也様が自身の体験を基に熱く語りかけ、県内各地から集った約30人の会員が熱心に耳を傾けた第一分科会会場。鳥獣害対策と食育という一見何の関係性もないと思われる事柄が、実は身近なことでもとても密接に関係していることを学ぶ、有意義な機会となりました。

「農家ハンター」という言葉もその活動についても、今回初めて聞きました。地域の農業を守るためイノシシを捕獲し、その命を無駄なく活用する仕組みを作り、肉も骨も皮も脂もすべてのものを有効活用されているとのこと、本当に頭の下がる思いです。  
 「電気銃で捕獲したイノシシを殺すときには今でも手が震える」と話されていたことが大変印象に残っています。  
 私自身が食の大切さ、「お肉は動物の命」であることを頭で理解はしていても、普段の生活の中ではそれがなかなか実感できておらず、子どもたちにかかりと伝えてきたか、ということも正直自信がありません。  
 捕獲したイノシシはジビエとして消費されているそうで、ぜひ給食に出したいというお話でした。「お肉は動物の命」だということをしつかりと考え、大切にそれをいただく、無駄にしないことを子どもたちに伝えたい、今回のお話を聞かせ、ぜひ嘉島町の給食にも出してもらいたいと思いました。

第1分科会 テーマ食育 宇城市小川総合文化センター・レポート



講演を

# 学び、学び愛 ～心豊かな子どもの夢と未来のために～ 第47回熊本県

第2分科会 「テーマ」特別支援 宇土市民会館



## 地域でつながり地域を支える 特別支援教育の推進

～地域発達支援ネットワークの展開～

講師 ルーテル学院大学副学長 河田将一様

■担当 家庭教育委員会  
■運営責任者 家庭教育委員会委員長 橋本 昭  
■会場責任者 横山 雅隆

### 報告



家庭教育副委員長 山下 絹予

「特別支援教育」の目的は、困っている子どもたちを支援することであり、発達障がいや知的障がい、外国につながる子ども、LGBTQ+、いじめや不登校、養育貧困など多様性がある。

そのような子どもたちに対し熊本市の「北ネット」では「地域の大学、医療、療育、保育、行政がネットワークを構築し情報を共有し活動をしている」とのお話をされました。

ただ課題として、保護者を巻き込んだ展開がなく教育委員会や学校での合同展開がないなどが挙げられるそうです。そこでPTAの活動が必要で、先生と保護者、保護者と保護者の関わりを深め、子どもたちの支援をする組織の在り方を考える必要があるとのことでした。

孤軍奮闘されている保護者の皆様もいるとお話もあり、今後のPTA活動も「心に寄り添った支援」をする必要があると感じました。

最後になりましたが、ご参加いただいた皆様とコロナ禍の中、開催に向けてご尽力いただきました宇城PTA連のスタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。

### 感想



宇土市立 鶴城中学校 PTA会長 宇都宮 一徳

特別支援教育とは、障がい・いじめ・不登校・LGBTQ+など様々な困り感を持っている子どもたちに対し色々な支援を行う教育であり、講演では「熊本市北部地域発達支援ネットワーク（北ネット）」の取り組みが紹介され、発達に関する「気づき」を地域全体の理解で支えるための人材づくりや幼保小中連携を推進する支援者ネットワークの重要性を理解することができました。

また、PTA組織の連携の在り方として、校内ネットワークや保護者研修会、特性に寄り添い強みを生かす支援などの展開をお示しいただき、研修会などは参加者の多さよりも「場があるか否か」が重要であるとのことでした。

河田様は結びに、「心に寄り添った理解と支援」を展開され「生涯のある」児童生徒一人一人が楽しく主体的に学校生活を送ることができるよう協力をお願いされました。

この分科会を通し、特別支援教育に対するPTA組織の連携の在り方を学ぶことができ、今後のPTA活動で広く伝えたいと思いました。

## 宇城大会 大会動画サイト



宇城大会のすべてをご覧ください。

動画視聴はコチラから

熊本県PTA連合会

合言葉は 2021kpta



会場ようす (第2分科会)



ステージようす (第2分科会)



受付ようす (第2分科会)



会場ようす (第3分科会)



ステージようす (第3分科会)



質問する参加者

第3分科会 「テーマ」情報モラル 美里町文化交流センターひびき



## 子どもたちの携帯電話・スマートフォン等の安全利用について

～子どもたちを守るために大人ができること～

講師 熊本県教育庁教育政策課 教育情報推進室 林田耕司様

■担当 広報委員会  
■運営責任者 広報委員会委員長 山口 法子  
■会場責任者 木村 信宣

### 報告



広報委員会委員 西村 健一

当分科会では、熊本県教育庁教育政策課教育情報推進室指導主事の林田耕司様を講師に迎え、インターネット社会において子どもたちが置かれている環境等について講演をいただきました。

これから更に加速するICT、AI、SNSなどが、生まれてきたときから日常であるデジタルネイティブ世代。その環境から生まれるSNS依存症や「ゲーム障害」など、大人はこの時代の変化の速さに対応できるのだろうか。そんな不安感から、講演終了後はSNSに関する質疑が多数を占めていました。大人が知らないことを、子どもたちが知っている。一昔前まではありえないことでしたが、これが現実となった今、私たち保護者が教えられること、PTA活動として伝えられることは何なのか、あらためて考えさせられた貴重な時間だったと思います。

最後に、美里町PTA木村会長をはじめ、現地スタッフの方々、最高のおもてなしをありがとうございました。

### 感想



玉名郡PTA連合会 会長 玉名郡和水町立 三加和小学校 PTA 亀崎 清隆

コロナ禍の開催で様々な制限が設けられる中、参加者の不安を払拭し、新しい時代に即した形式での開催で大会スタッフのこれまでの尽力に頭が下がりました。

第3分科会では情報モラルとして「子どもたちの携帯電話・スマートフォン等の安全利用について」と題して熊本県教育庁教育情報推進室の林田耕司様の講演がありました。

現代の子どもたちには、切っても切れないアイテムとしたタブレット端末。情報共有社会の現代では、そのような情報媒体を駆使することが今後更に求められていくのであろうと思います。しかしながら、ゲームやSNSの利用については頭を悩ませることが家庭内でも日常茶飯事です。我が家でも注意するまでスマートフォン等を手放さず、最後には、喧嘩になってしまうことが多々ありました。そこで講師からの「子どもと話をし、子どもにルールを決めさせる」というアドバイスを早速実践してみました。すると、子どもたちも自ら決めたルールであることから、決まっていますが時間になると自ら止めるようになりました。

今回の研修会では全体会の視聴等はありませんでしたが、今後の県PTA研究大会のあり方を考える良い事例となったと思います。実行委員会や第3分科会スタッフの皆様にご感謝いたします。

### 今に目を向けて

## 宇土市立 走潟小学校PTA

県南 宇土市エリア

教職員数 15人

児童数 109人

宇土市立走潟小学校は、宇土市の北東部、緑川と浜戸川に囲まれた地形のほぼ中心に位置しています。創立一四七年の伝統校で校区には、約八〇〇世帯およそ二千人が生活しています。住民の約三分の一が農業に従事し、農業が盛んな地でもあります。学校に対する協力・支援はもろろんのこと、地域全体で子どもを育てようとする伝



### 地域と保護者に 支えられて～

## 玉名市立 岱明中学校PTA

県北 玉名市エリア

教職員数 34人

生徒数 302人

本校は旧岱明町のほぼ中央に位置し、住宅及び田畑に囲まれた七丈原と呼ばれる段丘上にあり、南に有明海や雲仙を眺望できる良好な自然環境の中にあります。

この恵まれた自然環境の中で、本校生徒は元気に学校に通っており、今年度は地域学校協働活動の一環として、地域の方を招いて講演会や学校内での花壇整備を一緒に行うことができました。



職業についての講演会のようす



美化作業のようす

しかしながら、新型コロナウイルス感染症予防のため、行事等は縮小しての実施となり、2年生の職場体験学習は中止し、代わりに地域の方を招いて、様々な職業についての講演会を4回行いました。

講師の方の話もわかりやすく、工夫を凝らした話の内容に、生徒は自分の将来を重ね、真剣に耳を傾け、とても有意義な学びの時間を過ごすことができました。

また、PTA役員等の役割を見直し、来年度から各委員会の組織編成改革を行い、これまでの委員選出方法や各委員会の構成人数の再編を実施し、時代の変化や今後の生徒数の減少に対応すべく持続可能な活動を目指しています。

これからも地域、保護者、学校がより協力し、岱明中学校が充実するように、アフターコロナを見据え、引き続き様々な活動に取り組みしていきたいと思っています。

校 長 上田 浩一  
PTA会長 西村 健一

統的気概に満ちています。本校は、平成23年から24年度にわたり文部科学省「コミュニティ・スクール推進事業」調査研究指定校となり、より地域と連携した学校教育活動が推進され今日に至っています。その代表的なものとして地域と合同の運動会や地域の協力のもと全校で取り組む米作りや朝の読み聞かせボランティアなどがあります。

今年度は新型コロナウイルスの感染状況に左右されながらも人数制限をしたり、時間短縮したりと学校とも密に調整を行い出来る限りの行事を行ってきました。中止



餅つきのようす

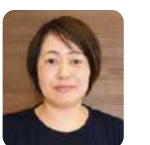
が、大なり小なり子どもたちの思い出のページになることを自覚して来年は地域と教職員、保護者が協力して例年通りの活動が出来ることを祈るばかりです。

校 長 佐伯 尚文  
PTA会長 田代 基樹



### 動画視聴を通じた学び

第47回熊本県PTA研究大会 宇城大会から



山鹿市エリア理事 山鹿市立 鹿本中学校PTA 松尾 良子

令和3年度家庭部会研修会として第47回熊本県PTA研究大会 宇城大会メイン会場の動画視聴を行いました。

『年中夢求』24時間をデザインする』宇城市教育長の平岡和徳様の話より、まず印象深かったことは「教育の入り口は家庭から」ということです。日頃の日常生活を大事に過ごす大切さ、当たり前前することをやる。そして家

庭で補えないことを学校やPTA、地域や行政によって補っていくことで、子どもたちの未来を切り拓いていく手助けをするということでした。

夢を叶える為にいかに本気(夢中)になるか、また全力を出し失敗を恐れず諦めない心を育て周りの方々、仲間への感謝の気持ちを大事にすることが大切だと言われました。

いろいろな社会の中で何かと諦めながら生きていく今、忘れてはいけない原点を改めて教えていただいたと感じます。子どもたちの未来の為に今を変えなければ未来は変わりません。今を諦めることなく、子どもたちが安心して夢へ挑戦できる社会や家庭にしていきたいと思えます。

## 三行詩 コンクール

日本PTA「楽しい子育てキャンペーン」

今年も家族のきずなが伝わる、あたたかな作品が多数集まりました。本県からの入賞作品です。

令和3年度 応募作品総数

小学生の部 581点  
中学生の部 261点  
一般の部 51点

### 小学生の部

水俣市立 水東小学校 前田 莉百花

お父さんがたいして帰ってきた。ギューとしたら、わたしの心はあんかんていばいになった。

人吉市立 人吉西小学校 岡崎 紗奈

1人で食べると、なんだかさみしい。ごはん。2人で食べると、楽しい。ごはん。みんなで食べると、とてもおいしい。ごはん。

### 中学生の部

人吉市立 第三中学校 清家 優衣

反抗期「ありがとう」  
素直になつて言えたらな

宇城市立 松橋中学校 柿本 光輝

1人で悩むと辛くなる。2人で悩むと軽くなる。家族で悩むと楽になる。

### 一般の部

阿蘇市立 一の宮小学校 後藤 亮

面倒くさいに意味がある。ヨハの悪い子育てを

天草市立 本渡北小学校 藤掛 沙織

コロナ禍の出生。画面越しの初対面。退院後によつて、よろしくね!」大中小、三兄弟の掌。重なるた

人吉市立 中原小学校 山本 萌愛

おとうさんはひなん所の手伝いでお母さんと入り。少し不安はあるけれど、だからためにがんばらてるなら、こわいなかもうれしいな。

玉名市立 睦合小学校 森 一剛

しかるはほくが大人になつた時。こまらないうちに、思いやりが大切なのはほくが、やさしくなるように、あきらめるを言うのはほくが、強くなるように

荒尾市立 緑ヶ丘小学校 金山 瑠生

スホ。ばかり。見ていると。いろんな。出来事。話せないよ。

荒尾市立 荒尾海陽中学校 浦部 太陽

コロナ禍で退屈しに始めた家庭菜園。育つ喜び、食べる喜びが家族で楽しめる喜び。毎日が、ハッピーだ。

荒尾市立 荒尾海陽中学校 安室 詩琉

「今更らな」今日何があった。いつも何気ない。いつも面倒くさい。いつも僕が僕で掛ける言葉が違つてくる。いつも僕が僕で掛ける言葉が違つてくる。いつも僕が僕で掛ける言葉が違つてくる。

玉名郡和水町立 三加和中学校 竹下 湊

「さわらないで」言つてはいるけど母の手のみくもりほしいんだ。はずかしいけど大好きだ。

荒尾市立 緑ヶ丘小学校 追田 美保

おつても。けんかしても。ごめんねも。最後に。ぎゅーと。抱きしめて。10秒たちたら。次。頑張る。

上益城郡益城町立 飯野小学校 中村 裕美

毎朝かける言葉は「いつてらっしゃい、気を付けて」。あなたの今日のお守りになりますように。

上益城郡益城町立 飯野小学校 米満 真紀

「ママ、あのね!!」あなたの「あのね」が、毎日の幸せ。このまま。ずーと。続くといいのにな。

令和3年度委員会報告

繋がる、そして繋げる



広報委員会 委員長 山口 法子

広報委員会では、年2回の新聞発行を行っております。会員の皆様が読みたくるような新聞づくりを目指し、情報の収集や原稿依頼を行っております。今年度は前年度に比べ、行事が少なかったところがあったようですが、何もできない中でもPTAの活動として、広報紙作成はできたという学校も多かったと思います。

今年度は昨年度の『コロナ禍』とは違い、PTA活動の規模縮小や時間短縮等、できる範囲で取り組みました。家庭教育委員会では「ふれあい読書研究会」「親子ふれあいデー」の委嘱式は実施できま...

この際、熊本県PTA新聞は、子どもたちの笑顔や頑張りを、保護者・先生の想い等、希薄化している「コミュニティ」だからこそ、情報をお届けして、少しでも繋がるお手伝いができれば嬉しいと思っています。

新しい形式、そして取り組みを!



家庭教育委員会 委員長 橋本 昭

今年度は昨年度の『コロナ禍』とは違い、PTA活動の規模縮小や時間短縮等、できる範囲で取り組みました。家庭教育委員会では「ふれあい読書研究会」「親子ふれあいデー」の委嘱式は実施できま...

学校の特色、現状などを話し、大変盛り多き会になりました。参加者の方々からは、『参加して良かった。』とお声をいただきました。家庭教育委員会に対しては事業自体の存在や委嘱金の配布時期、委嘱金使用用途など、これらの意見をしっかりと受け止めて、来年度の委員会活動に活かして参ります。

地域との連携体制など、特別支援教育への知識をさらに深めることができました。委員会としてもコロナ禍の中分科会を含め大会が開催できたことにより、今後のPTA活動に活かせる経験になりました。

コロナ禍に負けない学びの機会の提供



教養委員会 委員長 藤井 千秋

教養委員会の主たる事業内容は研修会の開催です。年間事業計画として、県P研究大会と次年度単P会長に就任される皆様の研修会を企画することです。昨年引き続き新型コロナウイルス感染症が不安定な中での研修会開催については、賛否両論ございますが、学ぶ機会を少しでも提供できるようにと年間事業を慎重に検討いた

しました。まず、県P研究大会においては、計画そのものを抜本的に見直し、参加される方の不安を軽減してご参加頂く事を第一に考え、会場内では感染予防対策をしっかりと行いました。皆様のご協力のおかげで制限が多い中にも関わらず、限られた時間の中で充実した研修会が無事に開催できたことに感謝申し上げます。

2月19日単位PTAリーダー等研修会については第6波の状況を加味し映像配信といたしました。次世代を担うリーダーを対象にした映像の配信と、資料の冊子を全会長に郵送しご活用いただくことといたしました。コロナ禍の中、皆様のご協力のもと活動できた事に感謝申し上げます。

これからの県P連のために



総務委員会 委員長 池田幸司

今年度の総務委員会は、四月より本格的に導入されたICT教育の検証と、本会規約の見直しを二本の柱として活動に取り組んでいます。タブレットを使用したICT教育については、県内各エリアの現状と課題を集約し、様々な視点から検討を行い、すべての子どもたちの教育環境の充実を目指しています。

部分の改定にとどまりましたので、今年度はしっかりと時間をかけて、実際の活動との整合性を取ることに、誰にでもわかりやすい内容にすることを目標に規約全体を見直しています。今まで規約の制定に携わってきた先輩たちの想いを尊重しつつ、より良い規約になるように協議しています。

また、県P宇城大会への取り組みも今年度の大きな活動の一つでした。総務委員会では、食育をテーマにした「第一分科会」を担当し、大会実行委員会とともに大会の企画、運営に注力しました。良いチームに恵まれ、大会を成功に導くことができ、委員会にとっても大きな自信となりました。

熊本県PTA連合会

小・中学生総合保障制度(こども総合保険)のご案内

学校内外でケガをしてしまったら... 自転車を運転していてケガをさせてしまったら...

2022年1月現在の内容です。

任意加入保険

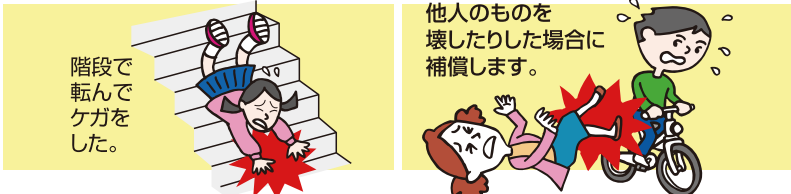
小・中学生総合保障制度(こども総合保険)

お子さまを取り巻く様々な事故のリスクに対応します。

学校内外でのケガを補償します。

学校内外でのケガを補償します。

他人にケガを負わせたり他人のものを壊したりした場合に補償します。



上記の他にも、病気補償・学校管理下動産補償・育英費用補償・被害事故補償など様々な補償でお子さまをお守りします。

●団体割引制度により保険料は約31%割引

当制度は、PTA団体加入制度のため、約31%保険料が割引かれています。5種類のプランの中からお選び頂けます。1年間の掛金 1,950円~(プラン・補償開始日により掛金は異なります。) 加入件数 / 5,620件(2021年度)

※割引率について:このパンフレットで案内している保険商品の算出基準である保険料(加入者数20名未満の団体における保険料)に対する割合を示します。適用される割引率は前年度の加入者数、過去の損害率等に応じて決定します。次年度以降、割引率に変更となる場合がありますので予めご了承ください。

この制度の詳細な内容は、こちらからも確認頂けます。

『お子さまのための総合保障制度』

https://riskfinder.jp/school/



お申込み・お問合わせ

熊本県PTA連合会 小・中学生総合保障制度事務局

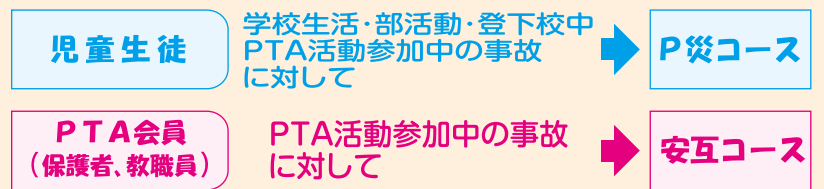
TEL:0120-228-553

受付時間:平日/午前9時~午後5時 〒810-0022 福岡市中央区薬院4-3-5 セレス薬院5F 株式会社コーリン内 制度引受保険会社: AIG損害保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン(株)、三井住友海上火災保険(株)、Chubb損害保険(株)

ご加入の際は、パンフレットおよび重要事項説明書を必ずお読み頂いた上でお申し込みください。 S-220331(2022-12)

熊本県PTA共済のご案内 (熊本県PTA教育振興財団)

児童生徒の皆さん、PTA会員の皆さんの教育活動中の被災に対する共済金の給付



- 死亡共済金: 事故や急性の疾病による死亡、突然死
後遺障害共済金: 事故や急性の疾病による後遺障害
交通事故共済金: 交通事故による死亡・傷害・負傷
歯科特別共済金: 保険外治療を必要とする場合

※いずれも活動参加への往復中を含みますが、公共交通機関を利用中の事故は除きます。
※保護者は、学校行事参加中の事故を含みます。
※教職員で部活動指導にかかわる方はP災コースへの加入ができます。公務災害は除きます。

PTA共済Q&A

- Q 中学校の部活動中に、転倒して前歯が2本大きく破折して保険外治療を受けましたが、共済金の給付は受けられますか?
A 保険外治療の部分について、歯科特別共済金が給付されます。(規定額)
Q 社会体育活動に参加中のけがは給付の対象になりますか?
A 給付対象ではありません。
Q 学校の休み時間に友だちとぶつかり、相手の眼鏡が壊れましたが、修理代の給付は受けられますか?
A 物損は対象ではありません。

詳しくは、PTA共済ホームページをご覧ください!



(財)熊本県PTA教育振興財団

096-223-7119 月曜~金曜 9:00~17:00

http://www.kumamoto-psai.net

令和3年度「熊本の心」優秀作文

令和3年11月26日、熊本の心推進協議委員として「熊本の心」作文の審査会に参加しました。「熊本の心」とは、具体的には「助けあい 励ましあい 志高く」の心であり、心豊かで潤いに満ちた郷土を築いていくために熊本県民が持ちたい心として県が提唱しているものです。郷土を愛し、熊本の心の具現化を推進するために、県内在住の児童生徒を対象に、郷土愛・道徳心を高めるとともに、心豊かな熊本を創る「熊本の心」作文の募集が毎年行われております。3100点を超える応募の中から予備審査により選出された16点の作品を読ませていただきました。その中から、熊本県PTA連合会賞に決定しました作文を紹介いたします。

熊本県PTA連合会賞

「ご先祖さまが作った土地」を読んで

津奈木町立 津奈木小学校 5年 高木 大幹

仕事から帰ってきたお父さんが、「この前の大雨で、曾木発電所遺構の壁がこわれたんだって。」と悲しそうに言った。それを聞いて、ぼくは道徳で習った「ご先祖さまが作った土地」のことを思い出した。お父さんは水力発電所で働いていて、曾木発電所遺構はその発祥の地として何度か連れて行ってもらっていた。

話の登場人物である翔太は、「新しい堤防があるから、古い堤防はいらない。」と書いていた。ぼくも心の中でそう思った。理由は、今は使っていないのでじゃまだと考えたからだ。しかし、読んでいくうちに翔太のじいちゃんの時代には、生活が楽しくなく、干拓するのが大変だったことがわかった。「昼も夜も関係なく、手作業でどろをかごいっぱいに入れてかたにかついだ。7メートルの段々はしごを上って、命がけで運んで作ったんだ。」と翔太のじいちゃん言った。すると、それを聞いた翔太は、

「それなら、横島はご先祖さまが作った土地ってことだ。僕たちのご先祖さまってすごいね。」と言った。この場面を読んで、ぼくにも似た経験があることに気がついた。運動場そうじで土を運んだとき、とても重くて大変だった。それなのに、機械もない時代に、高さ7メートル、長さ5、2メートルもの大きな堤防を作るために、何回もどろを運んだのだらうと思うと、想像ができないほど大変だったと思った。だから、「古いからと言ってこわすのは、悲しいことなんだな」と気づいた。

翔太の町では、堤防を取りこわさず残したいという思いから、今でも草かりや清そう作業を続け、「潟担い節」というおどりでご先祖さまの苦勞を忘れないようにずっと伝え続けてきた。そして堤防が国の重要文化財に決まり、堤防を残せるようになること、みんなもじいちゃんも大喜びしていた。



熊本県PTA連合会賞を受賞した高木大幹君



熊本県PTA連合会 副会長 古澤 美和

日P・九P・県教委等表彰

●日本PTA会長表彰

団体 八代市立八千把小学校 双葉会 眞田 洋子 個人 山口 里美

●全国小・中学校広報紙コンクール

文部科学大臣賞 大津町立美咲野小学校PTA 写真賞 南阿蘇村立南阿蘇中学校PTA

●文部科学大臣表彰

球磨村立渡小学校PTA 荒尾市立桜山小学校PTA 水俣市立袋小学校PTA ●社会教育功労表彰 (熊本県教育委員会表彰) 山口 里美 山戸 康志

●九州ブロックPTA協議会長賞

団体 山鹿市立鹿本小学校PTA 和水町立菊水小学校PTA 個人 永田 壮拔 村上 竜也 感謝状 村崎 一英 眞田 洋子

Advertisement for the 67th Japan PTA Kyushu Block Research Conference (おきなわ大会). Includes dates (12/17-18), venues (Okinawa Arena), and contact information.

編集後記

本年度は、2年ぶりとなる熊本県PTA研究大会を宇城にて開催することができました。その様子を中心に県内PTAの情報をお届けしております。まだまだコロナ禍での制約の多い生活が続きますが、これまで模索を続けてきたことが少しずつ実を結んできていることを今紙で感じ、未来に向けての励みになることを願っております。本年度、県P新聞作成にご協力いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

